

# 我が社の雇用事例



阪神友愛食品株式会社



## 自立と共助、そして社会貢献

### 企業DATA

代表者	代表取締役社長 大橋 恭子
所在地	〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜3丁目10-1
従業員数	38人 障がい者25人 (内訳：身体障がい者7人 知的障がい者12人 精神障がい者6人)
URL	<a href="https://www.hanshin-yuai.co.jp/">https://www.hanshin-yuai.co.jp/</a>
事業内容	生活協同組合コープこうべの特例子会社として、紙リサイクル、農産袋詰め、酒類センターピッキング、販促物封入、事務・軽作業などの業務を行う重度障害者多数雇用事業所です。 また、兵庫県からの委託事業として、知的障がい者向けの職業訓練を行う能力開発センターも運営しています。

## インタビュー

### ■ 障がい者の雇用の経緯について ■

阪神友愛食品(株)は、働く意欲と能力を持ちながら、就職の機会に恵まれない重度障がい者に職場を確保し、自立した生活を営めるよう促すことを目的として、兵庫県と阪神7市1町とコープこうべによる第3セクター方式で設立されました。

重度障害者多数雇用事業所に、知的障がいのある方々のための能力開発センターを併設し、1年間の訓練の後ハローワークと連携し、地域の企業に就職できるよう支援しています。

阪神友愛食品(株)メンバーの採用は、特別支援学校などから実習に来られた方がハローワークに応募されることが多いです。2018年の事業転換後、少しずつ業務内容を広げ、一人ひとりが様々な仕事にチャレンジできる取り組みを進めています。



総務・生活支援課長  
馬場 初美 さん

## ■障がい者への取り組み・課題について■

働くことの喜びを感じながら、働き続けることで自立と共助を実現し、その輪を広げていくことを目指しています。社会に適応して自立する力や、技能・体力・態度・持久力などの働く力を伸ばすために、どのようなサポートが最適なのかを日々検討し、助け合い、ともに働くことで、“友愛”の心を育む就労の現場となるように取り組んでいます。

## ■雇用環境管理 サポート体制について■

できない部分を理解しつつ、できる部分や可能性のある部分を伸ばすため、業務や自主で受講する学習プログラムを設けています。また、主任5名のうち3名が障がいのある方で、役割を明確にして責任を持って業務に取り組んでいます。

また、手話委員会など4つの委員会では、コミュニケーション向上や社内報づくりなど、さまざまな活動に挑戦しています。社内報は関連会社にも共有され、取り組みを知っていただく機会にもなっています。さらに、8名のジョブコンタクターが在籍（そのうち1名は障がいのある方）し、サポート体制も充実しています。



## ■障がい者のお仕事について■

紙りサイクル、酒類センターピッキング、販促物封入作業、農産物袋詰め、事務作業があります。

午前中に農産物袋詰め作業を担っていた人が、午後から契約書などのPDFデータ化作業をするなど、ひとりの社員が複数の仕事を担っています。

また、コープこうべ本部内にある住吉出張所では、コープこうべから請け負った事務作業をしています。



## ■今後、障がい者を雇用する企業様へ■

働くということでは健常者、障がい者の区別はありません。

配慮についても同様で、一人ひとりの障がい特性を知るためにもコミュニケーションを心掛けるようにして欲しいと思います。

できないことが目につきやすいと思いますが、「できていること」や「できそうなこと」を伸ばすようにすると良いと思います。

## 障がい者インタビュー

学校ではお菓子会社を志望しましたが縁がなく、次に紹介された阪神友愛で実習・面接を受けて入社しました。現在は販促物封入チームの主任を務めています。

作業ではメンバーの配置も任されており、メンバー同士が得意な部分と不得意な部分を補い合えるように配置するなど配慮しています。ユニバーサルマナー検定も取得、車いすの通路確保やUDトークの活用など、支援されるだけでなく支援する方法を学びました。

また、入社後に同僚の紹介でフライングディスクを始めました。全国大会にも出場し、ディスタンス種目で昨年は2位、一昨年は1位という好成績を収めました。会社で結果を報告した際には同僚が喜んでくれ、とても嬉しかったです。

次は1位を目指して頑張りたいと思います。

### 社歴30年 久穂さん



### 社歴28年 中西さん



伊丹の職業訓練校に1年間通っていた際、阪神友愛食品(株)が新事業を始めるタイミングで、障がい者を募集していると聞き、実習に応募しました。

現在は農産袋詰めチームの主任を務めており、作業日報にその日の作業内容を記録しています。メンバーの障がいはさまざまなので、それぞれに合った役割を決めるように心がけています。

コミュニケーションも大切にしており、まじめな話から冗談まで幅広く会話しています。

主任になってからは、伝えることの難しさも感じていますが、手話技能検定5級を取得したり、ゆっくり丁寧に話すなど意識して取り組んでいます。自身の体調に波がある時も同僚に支えられて28年間続けてこれました。

今後もメンバーと一緒に会社を盛り上げ、公私ともに活躍の場を広げていきたいです。